



10月22日 神戸市長選 市議補選

腐敗した自民党政治に 神戸から一を！

政務活動費（税金）を不正利得した 自民党市議はただちに辞職を！



大野一市議(東灘/故人)ら自民党議員の数千円もの政務活動費不正流用事件は、7月27日に岡島亮介(西区)、梅田幸広(西区)、竹重栄二の3市議が詐欺罪で起訴される事態に。

報道によると、起訴された市議は自民党では「領収書偽造は慣例」で「他の市議にとっても常識」と詐欺が横行していると語っています。

一方、自民党の今井参議院議員との不倫を週刊誌に報道された橋本健市議(中央区)は、当初の発言を覆し、記事の内容は「概ね事実」と証言。市会報告が「選挙応援」ではとの指摘を受け、修正し30万円を返還するとしています。

安倍内閣同様、末期症状を呈する自民党政治は神戸でも腐敗を広げています。



自民党に「忖度」かばい続けた市長

政務活動費の支出者は、神戸市長であり、唯一「刑事告訴」する権限を持ちます。しかし応援をうける自民党に「忖度」して告訴を拒否。真相解明に背を向け続けました。

2015年10月27日 神戸市会本会議

議会は刑事告発して態度を示した。真相究明を一気に進めるため、市民の税金を預かる市長が告訴すべきだ。

神戸市・久元喜造市長

共産党議員の追及への答弁

市長として改めて告訴を行う必要性はない。原因の究明と再発防止に市会において努めていただく。



7月27日～29日 橋本健自民市議の不倫報道と、自民党3市議の起訴を報じる各紙

